

若い人たちが残そうとするもの…



▲絵本アプリ カラクリBOOKS
4年をかけて完成に至った



▲制作を進めてきた大学生や高校生たち



打合せを何度も行いデザイン修正をしました

「絵本アプリ カラクリBOOKS ～藤江の渡し～」

吉浜地区伝統である「藤江の渡し」の文化を子どもたちに伝えていくため、ボランティア団体「カラクリBOOKS」（代表：筒井 潔 氏）が絵本アプリ カラクリBOOKSを制作した。

市立図書館に「まちの昔話をデジタル絵本にしてみよう」と話が持ち込まれ「嫁入り舟」の再現などの取り組みを行っている渡し場かもめ会に取材、市立図書館の職員が物語を描いた。絵本のデザインは県立高浜高等学校のイラスト研究部が担当し、愛知工科大学プログラミング研究部が動くアプリに仕立てあげた。ナレーションは小学校を中心に読み聞かせのボランティアをしている「話・輪・和」（さんわのかい）が吹き替え、総制作期間約4年をかけて完成した。子どもにも楽しめるように画面をタッチすると動いたり音がでる仕組みになっており、制作に携わった大学生の杉村さんは「藤江の渡し」の文化を大切にしている渡し場かもめ会の皆さんといっしょに小学校の授業などで使っていただければ幸いです」と言う。

時代の変化により、昔ばなしや伝統的な祭礼は消えゆく途上にある。まちの物語を後世に伝え残していくにはインターネットやIT技術を活用して、世代に適応した伝え方が求められてくる。若者ならではの手段・方法で伝えていくことにこれからも期待したい。

※カラクリBOOKSはアプリとして現在配信されています。

“撮っておき” の たかはま

【第81回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
とっておきの「お宝」を紹介します。

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月、「高浜市が育てていきたい子どもの姿」をこのコーナーで紹介していきます。

5月〈礼儀〉

- 〈めざす年長児〉げんきよくあいさつをします。
- 〈めざす小6生〉進んで気持ちのよいあいさつや返事をします。
- 〈めざす中3生〉場に応じたあいさつ、言葉づかい、身だしなみを心がけます。



高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣 育成プロジェクト
いきいき広場内教育センターグループ ☎52-1111（内線311）

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は14ページ

早期配布にご協力ください。